

幼齢木ネット 経過報告 12年経過

枝葉食害防止から剥皮防除資材へ

施工現場：栃木県



1999年から2001年まで3回に分けて幼齢木ネットの改良品を施工した。

- ① 左写真の左上部と上部の白色部分
- ② 写真中央部分4列の中2列
- ③ 写真中央左右2列

当現場は、緩斜面であるも風強く例年積雪が50cm～1m程度ある。



←↑ 側面からの枝葉の貫通も少なくほとんどの苗木は10年～13年を経過して5m以上の樹高になり約8cm程度の胸高直径にまで成長している。

10年以上経過したにもかかわらず生分解性のネットは色の劣化はあるものの原形をほとんど維持しており剥皮防除の役割を担っている。